

加盟団体紹介 「神奈川県自転車競技連盟」

会長 敷田 博昭

【沿革】

昭和9年12月12日に日本サイクル競技連盟の創立に伴い神奈川県支部が設立され、昭和11年8月6日に平塚高等小学校の校庭において第1回神奈川県選手権大会が開催されました。その後、中央競技団体の組織改編が何度か行われ、戦後の混乱の中、昭和21年3月2日に現在に続く神奈川県自転車競技連盟が設立され、その年の第1回国民体育大会に出場しました。

平成29年5月には折からのサイクルブームと相まって自転車競技が広がりを見せる中で、神奈川県BMX協会と神奈川県マウンテンバイク協会が加盟しました。

【組織と運営】

理事19名（内女性2名）、監事2名（内女性1名）で年2回6月と3月に理事会を開催しています。また総務企画委員会と競技力向上委員会の小委員会を設けて組織運営と選手強化にあたっています。

令和3年における本県登録者数は選手423名（内女性24名）、審判員64名（内女性16名）、チームアテンダント122名（内女性17名）で有り、登録者総数は東京、大阪、埼玉に続き全国第4位ですが、大会の中止などの影響を受けて選手登録数は減少しています。

【事業内容】

★強化練習会

毎月土曜・日曜日を利用して平塚競輪場と小田原競輪場でトラックの強化練習会を開催。

★トラック大会・ロードレース大会

神奈川県選手権大会、記録会、新春トラック大会などトラック大会を年4回ほど開催。クリテリウム大会（1周800mから10Km以内の周回で、主に平地で行われるロードレース）の開催。

★トラック・ロード合宿

国体代表選手による県外トラック合宿やジュニア選手強化のためのロード合宿を開催。

特に毎年2月に韓国済州島においてジュニアロード合宿を開催していたが、新型コロナウイルスの蔓延により令和2年以降実施を見合わせています。

★国内大会・海外大会への選手派遣

関東自転車競技選手権大会、関東地域道路競走大会、一都三県対抗自転車競技大会に選手を派遣。

毎年8月末から9月に韓国で開催されるツール・ド・DMZ（非武装地帯に沿って5日間で350Kmを走るロードレース大会・ジュニアの国別対抗大会）に選手を派遣していましたが、同じく新型コロナウイルスの影響で2年連続大会が中止となっています。大会が再開する時の為に現在は国内で選手の強化を図っているところである。

★初心者講習会

タレント発掘のためにトラックやBMXなど小中高生向けに初心者講習会を開催している。来年度はマウンテンバイクにも幅を広げる予定で、現在県内での開催場所を探しているところです。

★審判・チームアテンダント講習会

大会運営に係る若手審判員を育成するために審判講習会を開催すると共に、大会に参加するチーム員に必要なアテンダント資格の講習会を年複数回開催しています。

